

作物名：キャベツ

病害虫名：モンシロチョウ（学名：*Pieris rapae crucivora*）



モンシロチョウ蛹

#### 1 被害の特徴と診断のポイント

- ・幼虫がアブラナ科野菜の葉や雑草などを食害する。
- ・中齢期以降の幼虫は、食害で大きな穴をあける。葉表，裏の両方から食害する。
- ・多発すると，葉は網目状に食害され，葉の葉脈のみが残る。

#### 2 発生生態及び発生好適条件

- ・主に葉裏に産卵し，卵から成虫羽化までの期間は，20 で25日間である。蛹で越冬し，東北では年3～4回発生する。
- ・春から初夏および秋期に発生が多くなり，盛夏期は発生数が少ない。発生量は年によって大きく変動する。

#### 3 防除方法

- ・薬剤防除では，コナガとの同時防除ができる。
- ・蛹は外葉の裏側に多いので，薬剤は葉裏にも十分かかるようにする。

#### 4 出典

- (1)参考文献：農業総覧 病害虫防除・資材編3（農文協）  
日本農業害虫大事典（全国農村教育協会）
- (2)写真：宮城県病害虫防除所撮影